

## 味の素株式会社 2020年3月期第3四半期 決算概要①

## ■財務諸表・外部影響等

(単位: 億円)

連結損益計算書	19/4-12月	18/4-12月	増減額	増減率	19/10-12月	18/10-12月	増減額	増減率	FY19 修正予想	進捗率
売上高	8,318	8,464	▲146	▲1%	2,930	2,999	▲69	▲2%	11,385	73%
持分法による損益	▲8	1	▲9	-	9	▲25	35	-	-	-
★ 事業利益 *1*2	840	742	97	13%	359	297	62	21%	880	95%
固定資産売却益	13	5	8	175%	2	0	1	199%	-	-
その他	27	36	▲9	▲25%	11	8	2	30%	-	-
その他の営業収益	41	41	▲0	▲1%	13	9	4	44%	-	-
固定資産除去損	24	24	0	0%	5	7	▲1	▲19%	-	-
その他	372	316	56	17%	94	291	▲197	▲67%	-	-
その他の営業費用	396	340	56	16%	99	299	▲199	▲66%	-	-
★ 営業利益	484	444	40	9%	273	7	265	3,469%	420	115%
受取利息	34	30	4	15%	11	11	▲0	▲4%	-	-
その他	16	26	▲9	▲36%	4	10	▲5	▲57%	-	-
金融収益	51	57	▲5	▲9%	15	21	▲6	▲28%	-	-
支払利息	27	25	2	9%	9	9	▲0	▲5%	-	-
その他	16	31	▲15	▲48%	0	15	▲14	▲94%	-	-
金融費用	44	57	▲13	▲22%	10	25	▲15	▲60%	-	-
★ 税引前当期利益	492	444	48	10%	278	4	274	6,665%	422	116%
法人所得税	177	166	10	6%	91	29	62	212%	150	118%
税率	36.0%	37.5%			32.8%	709.6%			35.5%	
継続事業	315	277	38	13%	187	▲25	212	-	-	-
非継続事業 *2	▲4	18	▲22	-	-	10	▲10	-	-	-
当期利益	310	295	15	5%	187	▲14	202	-	272	114%
★ 親会社の所有者	231	223	8	3%	160	▲37	198	-	180	128%
非支配持分	79	71	7	10%	26	22	4	18%	92	86%

\*1 当社が経営管理のため独自に定義した利益指標。(売上高 - 売上原価 - 販売費・研究開発費及び一般管理費 + 持分法による損益)

\*2 前第1四半期連結会計期間より物流事業は、非継続事業に分類しております。当社は2019年4月1日にF-LINE株式会社(旧味の素物流株式会社)に対する支配を喪失し、第1四半期連結会計期間よりF-LINE株式会社は当社の持分法適用関連会社となりました。第3四半期連結累計期間において、支配の喪失に係る損益は非継続事業に含め、持分法による損益は継続事業に含めております。

★ 第3四半期連結累計期間では、欧州の動物栄養事業の製造設備、プロマシードル・ホールディングス社(以下、PH社)の商標権ならびに持分法で会計処理されている投資、ペーカリー事業の製造設備及び欧州の調味料製造設備に係る減損損失を計上しております。減損損失の内容を各段階利益別に記載すると以下の通りです。

(単位: 億円)

	19/4-12月			19/10-12月		
	事業利益	営業利益 税引前 四半期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	事業利益	営業利益 税引前 四半期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
(1) 欧州の動物栄養事業の製造設備に係る減損損失	-	149	117	-	-	-
(2) 持分法で会計処理されているPH社に対する投資に係る減損損失 (33.33%出資相当)	-	42	42	-	-	-
(3) PH社商標権に係る減損損失(33.33%出資相当)	38	38	38	-	-	-
(4) ペーカリー事業の製造設備に係る減損損失	-	38	29	-	-	-
(5) 欧州の調味料製造設備に係る減損損失	-	68	68	-	68	68
合計	38	338	297	-	68	68

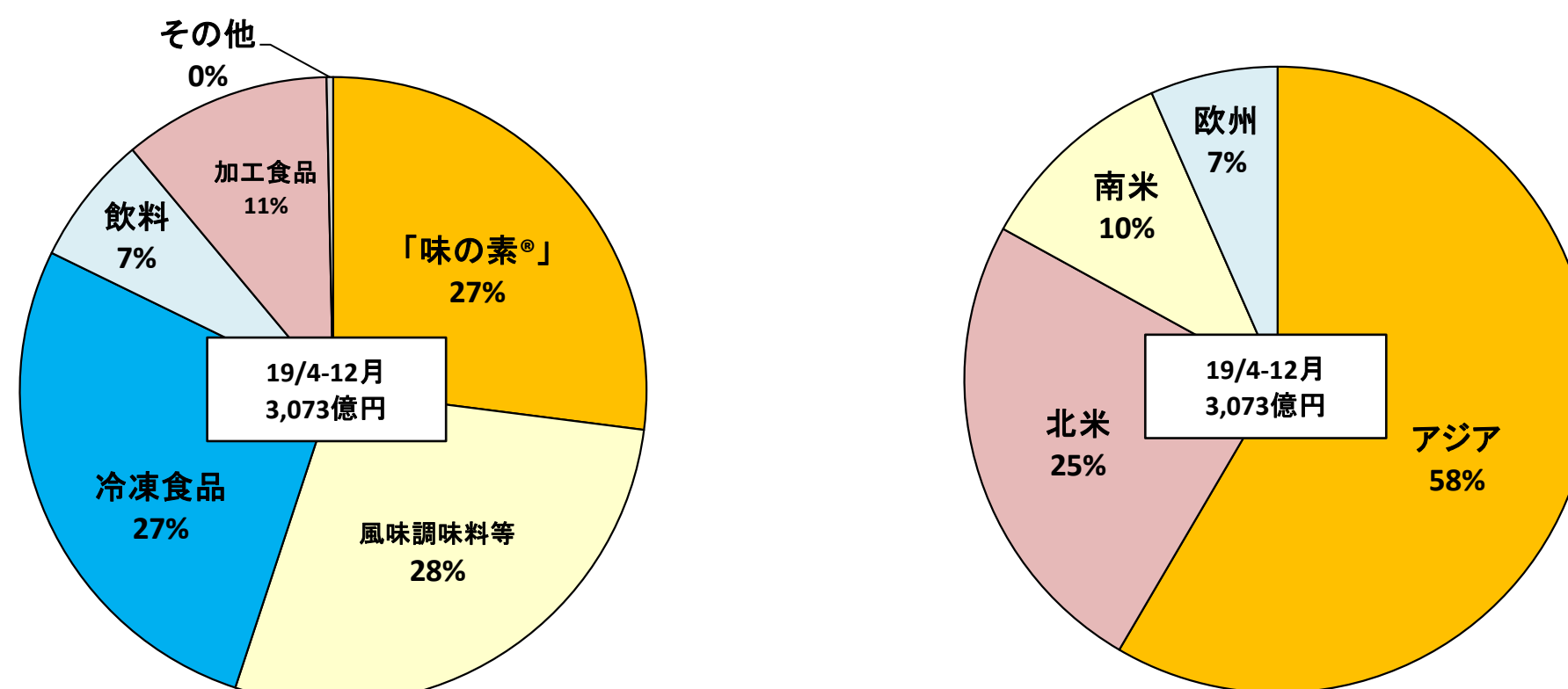
除く換算為替	19/4-12月	18/4-12月	増減額	増減率	19/10-12月	18/10-12月	増減額	増減率
日本食品	2,847	2,866	▲18	▲0%	1,044	1,057	▲12	▲1%
海外食品	3,639	3,606	33	0%	1,290	1,272	18	1%
ライフサポート	734	825	▲90	▲11%	248	281	▲32	▲11%
ヘルスケア	999	959	40	4%	318	309	9	3%
その他	201	207	▲6	▲3%	68	79	▲11	▲14%
売上高	8,422	8,464	▲42	▲0%	2,970	2,999	▲29	▲1%
日本食品	295	256	38	14%	147	132	14	10%
海外食品	412	331	80	24%	156	105	51	48%
ライフサポート	45	76	▲31	▲40%	20	27	▲7	▲25%
ヘルスケア	81	74	7	9%	32	35	▲3	▲9%
その他	12	3	8	224%	4	▲4	8	-
事業利益	846	742	103	13%	361	297	63	21%

外部影響(対前年増減)	19/4-12月	19/10-12月
換算為替	売上高 ▲104 ・ 事業利益 ▲5	売上高 ▲39 ・ 事業利益 ▲1
貿易為替*	売上高 ▲約5 ・ 事業利益 ▲約5	売上高 ▲約5 ・ 事業利益 ▲約0
日本食品原材料	+3 (調味料・加工食品 +3、冷凍食品 +0)	+0 (調味料・加工食品 +1、冷凍食品 ▲0)
発酵原燃料	+13 (主原料 +9、副原料 +5、エネルギー ▲1)	+4 (主原料 +3、副原料 +2、エネルギー ▲0)
コストダウン(日本食品)	+26 (調味料・加工食品 +13、冷凍食品 +12)	+8 (調味料・加工食品 +3、冷凍食品 +4)

\*5億円単位の概数で表示

為替レート	19/ 4-6月	18/ 4-6月	19/ 7-9月	18/ 7-9月	19/ 10-12月	18/ 10-12月	FY19 修正予想
円/USD	109.90	109.10	107.36	111.43	108.76	112.91	107.00
円/EUR	123.50	130.03	119.41	129.55	120.32	128.82	122.00
円/THB	3.48	3.42	3.49	3.38	3.59	3.44	3.42
円/BRL	28.02	30.27	27.05	28.24	26.41	29.63	28.16

## ■海外調味料・加工食品、冷凍食品実績(構成比は四捨五入)



## Five Stars及び海外冷凍食品 売上高対前年増減率

タイ	約257億THB (LCベース+2%、円ベース+5%)	*内訳>調味料 +3%、加工食品 +1%	ブラジル	約8.5億BRL (LCベース+3%、円ベース▲4%)
インドネシア	約4兆3,658億IDR (LCベース+12%、円ベース+11%)		フィリピン	約65億PHP (LCベース+11%、円ベース+12%)
ベトナム	約5兆4,337億VND (LCベース▲10%、円ベース▲12%)			
海外冷凍食品	LCベース▲1%、円ベース▲3%			

## 味の素株式会社 2020年3月期第3四半期 決算概要②

## ■セグメント別実績

## 【日本食品】

(単位:億円)

	19/4-12月	18/4-12月	増減額	19/10-12月	18/10-12月	増減額	修正予想	進捗率
売上高	2,845	2,866	▲ 21	1,043	1,057	▲ 13	3,812	74%
調味料・加工食品	1,457	1,457	▲ 0	551	547	*1 3	1,974	73%
冷凍食品(日本)	735	741	▲ 5	241	248	*2 ▲ 6	969	75%
コーヒー類	652	674	▲ 22	250	268	*3 ▲ 17	867	75%
事業利益	294	256	37	147	132	*4 14	286	103%
調味料・加工食品	259	265	▲ 5	119	120	▲ 1	-	-
冷凍食品(日本)	53	31	22	19	12	7	-	-
コーヒー類	64	46	18	34	28	5	-	-
全社共通費	▲ 83	▲ 86	3	▲ 26	▲ 28	2	▲ 126	65%

以下、2020年3月期第3四半期(10-12月)に関するコメントです。増減要因については、影響額の大きい順に並べております。

- \*1 家庭用、業務用とも前年並み。
- \*2 家庭用は、米飯類の一部製品休売影響あるも、「ギョーザ」の販売好調等により増収。業務用は、主力カテゴリーの販売が拡大するも、一部製品が前年の販促影響等を受け、減収。全体で減収。
- \*3 主力製品のインスタントコーヒー、スティックコーヒー、レギュラーコーヒーは増収も、ギフトの一部製品終売、パーソナルサイズリキッドコーヒーの事業縮小等により全体で減収。
- \*4 調味料・加工食品は前年並み。冷凍食品は減収も、主にマーケティング費用の効率的使用や生産性改善等により大幅増益。コーヒー類は減収も、主力製品の増収や、原価低減等により大幅増益。

## 【海外食品】

(単位:億円)

	19/4-12月	18/4-12月	増減額	19/10-12月	18/10-12月	増減額	修正予想	進捗率
売上高	3,583	3,606	▲ 22	1,268	1,272	▲ 3	4,840	74%
調味料・加工食品	2,238	2,229	9	798	775	*1 22	3,000	74%
冷凍食品(海外)	834	868	▲ 33	298	323	*2 ▲ 24	1,133	73%
加工用うま味調味料・甘味料	509	508	0	172	173	*3 ▲ 1	704	72%
事業利益	409	331	78	156	105	*4 50	453	90%
冷凍食品(海外)	15	5	9	3	10	▲ 7	24	62%
全社共通費	▲ 103	▲ 105	1	▲ 33	▲ 31	▲ 2	▲ 156	66%

&lt;調味料・加工食品 換算為替影響&gt;

19/4-12月 売上高: ▲19億円、事業利益: ▲0億円

19/10-12月 売上高: ▲3億円、事業利益: +0億円

- \*1 ベトナムが復調し、主要法人全体において販売数量増や値上げ効果等により増収。
- \*2 北米、欧州におけるアジア製品の需要は堅調も、換算為替影響、アモイ・フード社売却影響等により減収。
- \*3 加工用うま味調味料は換算為替影響あるも、主に海外における販売単価上昇により前年並み。参考>加工用うま味調味料の売上高 135億円
- \*4 調味料・加工食品は、前年のプロマシドール社減損損失の影響(+32億円)と、値上げ効果等により大幅増益。冷凍食品は、北米におけるシステム関連費用等により大幅減益。加工用うま味調味料は、海外における販売単価上昇やコストダウン等により大幅増益。参考>調味料・加工食品 +53、冷凍食品 ▲7、加工用うま味調味料 +8、甘味料 ▲1

## 【ライフサポート】

(単位:億円)

	19/4-12月	18/4-12月	増減額	19/10-12月	18/10-12月	増減額	修正予想	進捗率
売上高	715	825	▲ 109	241	281	▲ 40	942	76%
動物栄養	426	557	▲ 130	142	184	*1 ▲ 42	565	75%
化成品	270	250	19	92	89	*2 3	-	-
その他	18	17	0	6	7	▲ 1	-	-
事業利益	46	76	▲ 30	20	27	*3 ▲ 6	21	221%
動物栄養	▲ 33	12	▲ 46	▲ 9	2	▲ 11	▲ 53	63%
化成品	101	91	10	36	32	3	-	-
その他	▲ 0	▲ 4	4	0	▲ 0	1	-	-
全社共通費	▲ 21	▲ 22	1	▲ 6	▲ 6	0	▲ 31	66%

- \*1 アフリカ豚コレラの世界的拡大による需要減少及び販売単価の下落により大幅減収。
- \*2 主に電子材料の販売好調により増収。
- \*3 動物栄養は大幅減収に伴い大幅減益。化成品は増収に伴い増益。

## 【ヘルスケア】

(単位:億円)

	19/4-12月	18/4-12月	増減額	19/10-12月	18/10-12月	増減額	修正予想	進捗率
売上高	970	959	10	308	309	▲ 0	1,507	64%
アミノ酸	676	641	34	214	206	*1 7	-	-
その他	293	317	▲ 23	94	103	*2 ▲ 8	-	-
事業利益	76	74	2	31	35	▲ 4	130	59%
アミノ酸	86	78	7	30	31	*3 ▲ 0	-	-
その他	24	25	▲ 1	11	13	*4 ▲ 1	-	-
全社共通費	▲ 33	▲ 29	▲ 3	▲ 10	▲ 8	▲ 1	▲ 50	66%

- \*1 主に製薬カスタムサービスの販売拡大により増収。参考>医薬用・食品用アミノ酸 ▲5、製薬カスタムサービス +12
- \*2 主に健康基盤食品や化粧品素材が前年を下回り減収。
- \*3 製薬カスタムサービスは増益も、医薬用・食品用アミノ酸は減収に伴い減益。全体で減益。参考>医薬用・食品用アミノ酸 ▲4、製薬カスタムサービス +3
- \*4 減収に伴い、減益。

## 【その他】

(単位:億円)

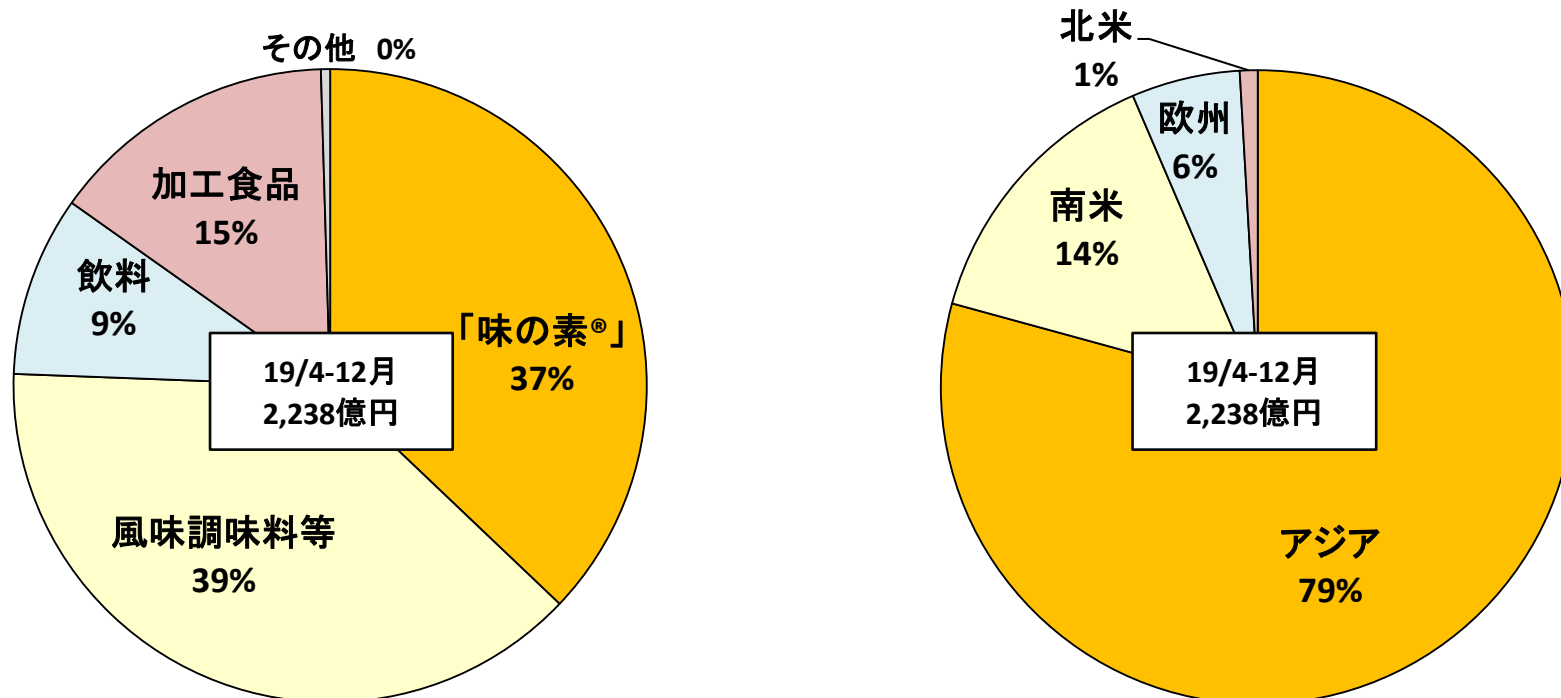
	19/4-12月	18/4-12月	増減額	19/10-12月	18/10-12月	増減額	修正予想	進捗率
売上高	203	207	▲ 3	68	79	*1 ▲ 11	284	71%
事業利益	12	3	8	4	▲ 4	*2 8	▲ 10	-
全社共通費	▲ 15	▲ 18	2	▲ 4	▲ 5	0	▲ 23	66%

- \*1 主に包材、サービス関連事業が前年を下回り大幅減収。
- \*2 全体で増益。

# 味の素株式会社 2020年3月期第3四半期 決算概要③

2020年1月31日

## 参考1 海外調味料・加工食品実績(構成比は四捨五入)



## 参考2 地域別業績

(単位:億円)

<売上高>	日本	アジア	米州	欧州	合計
日本食品	1,008 (▲28) 1,036	10 (2) 7	19 (11) 8	5 (0) 4	1,043 (▲13) 1,057
海外食品	40 (▲1) 41	678 (23) 655	434 (▲19) 454	114 (▲6) 120	1,268 (▲3) 1,272
ライフサポート	98 (2) 96	16 (▲15) 32	65 (▲17) 83	59 (▲9) 69	241 (▲40) 281
ヘルスケア	132 (▲3) 136	9 (0) 8	79 (▲1) 81	87 (3) 83	308 (▲0) 309
その他	39 (▲5) 44	29 (▲5) 35	- -	- -	68 (▲11) 79
合計	1,320 (▲35) 1,355	744 (4) 739	599 (▲27) 627	267 (▲10) 277	2,930 (▲69) 2,999

上段:19/10-12月、下段:18/10-12月、( )内は増減額。

(単位:億円)

<事業利益>	日本	アジア	米州	欧州	地域外	合計
日本食品	165 (13) 152	5 (▲1) 6	1 (0) 1	1 (0) 1	▲26 (2) ▲28	147 (14) 132
海外食品	10 (2) 8	139 (21) 117	33 (▲4) 38	7 (34) ▲27	▲34 (▲3) ▲30	156 (50) 105
ライフサポート	34 (3) 30	▲0 (1) ▲1	0 (▲5) 5	▲6 (▲7) 0	▲6 (0) ▲7	20 (▲6) 27
ヘルスケア	26 (6) 19	0 (▲2) 3	14 (0) 14	3 (▲3) 6	▲13 (▲6) ▲7	31 (▲4) 35
その他	8 (3) 4	1 (3) ▲1	- -	▲0 (0) ▲1	▲4 (0) ▲5	4 (8) ▲4
全社共通費等	▲39 (2) ▲42	▲22 (▲2) ▲19	▲16 (▲3) ▲12	▲7 (▲1) ▲6	86 (5) 80	- -
合計	205 (32) 173	124 (19) 104	33 (▲12) 46	▲3 (22) ▲26	- -	359 (62) 297

上段:19/10-12月、下段:18/10-12月、( )内は増減額  
全社共通費等には未実現利益消去等も含む。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

※ 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。  
※ 本資料の金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

## 味の素株式会社 2020年3月期第3四半期 決算補足資料

修正箇所

## ◆当社シェアおよび市場関連情報

(1) 主要製品 家庭用市場シェア(当社推定 消費者購入ベース)

調味料・加工食品

製品領域	主要ブランド	2017年度		2018年度			2019年度	
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア(順位)		市場規模予想 (億円)	当社シェア(順位)
					4-12月	年度		
うま味調味料	「味の素®」、「ハイミー®」	56	90%(1位)	54	93%(1位)	90%(1位)	52	94%(1位)
和風だしの素	「ほんだし®」	376	58%(1位)	364	57%(1位)	57%(1位)	353	58%(1位)
コンソメ	「味の素KKコンソメ」	121	81%(1位)	118	80%(1位)	81%(1位)	120	81%(1位)
スープ	「クノール®」	940	38%(1位)	950	38%(1位)	38%(1位)	970	38%(1位)
マヨネーズ類	「ピュアセレクト®」	534	26%(2位)	536	26%(2位)	26%(2位)	531	26%(2位)
合わせ調味料	「Cook Do®」、 「Cook Do®きょうの大皿®」	779	30%(1位)	795	31%(1位)	31%(1位)	803	32%(1位)

冷凍食品

製品領域	主要ブランド	2017年度		2018年度			2019年度	
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア(順位)		市場規模予想 (億円)	当社シェア(順位)
					4-12月	年度		
ギョーザ類	「ギョーザ」等	446	48%(1位)	467	49%(1位)	49%(1位)	5%程度成長	49%(1位)

コーヒー類

製品領域	ブランド	2017年度		2018年度			2019年度	
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア(順位)		市場規模予想 (億円)	当社シェア(順位)
					4-12月	年度		
インスタント瓶	「Blendy®」、「MAXIM®」	387	5%(3位)	371	5%(3位)	5%(3位)	356	5%(3位)
インスタント瓶詰替え	「Blendy®」、「MAXIM®」	281	41%(2位)	277	40%(2位)	40%(2位)	271	41%(2位)
スティック	「Blendy®」スティック、 「Blendy®」カフェラトリー®スティック	326	59%(1位)	328	58%(1位)	58%(1位)	338	58%(1位)
ホームレギュラー	「ちょっと贅沢な珈琲店®」	240	16%(3位)	236	15%(3位)	16%(3位)	231	15%(3位)
パーソナル・ レギュラー	「Blendy®」ドリップ®、 「ちょっと贅沢な珈琲店®」ドリップ®	199	13%(3位)	203	13%(4位)	13%(3位)	209	13%(3位)

(2) 日本食品 家庭用/業務用比率\*1

(単位:億円)

		2017年度	18/4-9月	18/4-12月	2018年度	19/4-9月	19/4-12月
調味料・加工食品*2	売上高	1,902	909	1,457	1,910	905	1,457
	家庭用	54%	51%	53%	54%	52%	54%
	業務用	46%	49%	47%	46%	48%	46%
冷凍食品*3	売上高	998	486	734	965	487	729
	家庭用	56%	55%	54%	54%	57%	56%
	業務用	44%	45%	46%	46%	43%	44%
コーヒー類*4	売上高	964	422	699	909	417	676
	家庭用	75%	72%	75%	75%	70%	73%
	業務用	25%	28%	25%	25%	30%	27%

\*1: 構成比は四捨五入、\*2: 業務用調味料・加工食品、加工用調味料(天然系調味料・酵素製剤等)、弁当・惣菜、ベーカリー

\*3: 味の素冷凍食品社単体の数値であり、2019年度より純売上高で記載し過年度の数値を修正、\*4: 味の素AGF社単体の数値を記載

(3) 北米の日本食・アジア食の冷凍食品 当社推定市場規模および市場シェア

	2017年度	2018年度	2019年度予想
市場規模*1(百万USD)	643	655	4-5%程度成長
味の素フーズ・ノースアメリカ社	30%(1位)	33%(1位)	-

\*1 除くクラブストア向け、PB

## 味の素株式会社 2020年3月期第3四半期 決算補足資料

: 修正箇所

## (4)MSG、核酸系調味料 当社推定市場規模

	2017年度				2018年度			
	中国	その他	計	当社シェア	中国	その他	計	当社シェア
MSG(千ト)	1,640	1,570	3,210*1	約20%	1,660	1,600	3,260*2	約20%
核酸系調味料(千ト)	-	-	49	約30%	-	-	54	約25%

\*1 家庭用:60%弱、加工食品メーカー向け:40%強

\*2 家庭用:60%弱、加工食品メーカー向け:40%強

## (5)アミノ酸系甘味料アスパルテーム 当社推定市場規模

	2017年度		2018年度		2019年度予想	
	市場規模	当社シェア	市場規模	当社シェア	市場規模	当社シェア
アスパルテーム(千ト)	26.0前後	30%弱	28.0前後	30%弱	29.0前後	30%弱

## (6)飼料用アミノ酸 市況および当社推定市場規模

		2017年度	18/10-12月	2018年度	19/4-9月	19/10-12月	2019年度 予想*2
スプレッド(USD/ST)*1		195	175	195	165	165	150-200
市場価格 (USD/kg・ CIFベース)	リジン	1.40	1.40	1.40	1.35	1.35	1.35前後
	スレオニン	1.70	1.50	1.55	1.55	1.50	1.50前後
	トリプトファン	11.00	8.00	9.50	7.00	6.00	6.0前後
市場規模 (千ト)	リジン	2,400前後	/	2,600前後	/	/	/
	当社シェア	15%前後		10%前後			
	スレオニン	640前後		700前後			
	当社シェア	20%前後		10%前後			
	トリプトファン	37前後		41前後			
	当社シェア	25%前後		25%前後			

\*1 シカゴ商品取引所(CBOT)の大豆粕とトウモロコシの価格差

\*2 2019年度市場規模予想については、アフリカ豚コレラの影響により不確定要素が多く市場予想が困難なため、非開示としております。

## ◆セグメント別SG&amp;A、設備投資内訳

## (1)減価償却費

(単位:億円)

	2017年度	18/4-9月	2018年度	19/4-9月	2019年度予想
日本食品	122	64	131	61	139
海外食品	196	98	201	99	220
ライフサポート	63	27	53	25	63
ヘルスケア	72	37	73	42	102
その他	11	11	13	21	16
全社	42	21	51	16	58
計	509	259	524	267	598

## (2)設備投資

(単位:億円)

	2017年度	18/4-9月	2018年度	19/4-9月	2019年度予想
日本食品	168	78	197	106	273
海外食品	311	79	274	119	297
ライフサポート	66	23	56	18	50
ヘルスケア	160	53	161	45	134
その他	32	11	13	4	48
全社	55	40	91	18	13
計	794	287	796	313	815

## (3)研究開発費

(単位:億円)

	2017年度	18/4-9月	2018年度	19/4-9月	2019年度予想
日本食品	34	17	35	17	41
海外食品	37	18	36	18	39
ライフサポート	52	27	54	23	47
ヘルスケア	25	15	29	18	39
その他	8	1	2	1	3
全社	119	62	120	60	118
計	278	142	278	138	287